

佐野市の文化財保護

—令和6年度—



令和8年3月

佐野市教育委員会

佐野市の文化財保護

—令和6年度—

令和8年3月

佐野市教育委員会

序

佐野市は、栃木県南西部に位置し、東北自動車道や北関東自動車道、主要幹線道路に加え、鉄道やバスなどの交通網にも恵まれています。大規模な商業施設や産業団地も立地しています。また、地理的には足尾山地から関東平野が広がる中山間地域に位置し、豊かな自然の中で多彩な農業が展開されています。これらの有利な立地条件を最大限に活用することで、SDGs の理念に基づき「進化する・選ばれる佐野市」を目指し、各種施策を実施しています。

その中で特に、歴史・文化資源の継承を図り、希望のまちづくりを実現することが文化財保護行政に求められています。本市には多数の文化財がありますが、特に佐野氏の居城として本市を代表する史跡である「唐沢山城跡」や、古来より茶釜や梵鐘の秀品を生み出し、日常生活にも密着した「天明鋳物」、足尾鋇毒問題に取り組み人々の生活や権利擁護のために闘った「田中正造」に関する遺品や史跡などがあります。これらの文化財は、古来から佐野の地に伝統と文化が受け継がれてきた証です。

令和6年度は、令和6年3月21日に国の重要有形民俗文化財に指定された「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」の一部を佐野市郷土博物館で展示し、交流センターではパネル展を行いました。また、「唐沢山城跡」の国史跡指定10周年にあたり、これを記念した企画展はこれまでの保存整備事業を振り返るとともに、最新の調査成果を発信する機会となりました。さらに、通常は一般公開していない西麓根小屋を特別に一日限定で公開し、多くの方々に城主らの屋敷跡を見学いただきました。

こうした取り組みによって、市民の皆様が文化財への関心を持ち、貴重な文化資源を保存・活用し、さらなる市の発展につなげていくことを目指しています。今後も郷土を愛する心を育てるとともに、佐野市の貴重な文化財を次世代へ継承するために、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月4日

佐野市教育委員会

教育長 津布久 貞夫

例 言

- 1 本書は、令和6年度に佐野市教育委員会が実施した文化財保護事業の概要をまとめたものである。
- 2 表表紙の写真は、令和6年度に実施された「国指定重要有形民俗文化財 指定記念 佐野の天明鋳物生産用具及び製品」展の一部である。
- 3 本書の執筆は、次の通り職員が分担して行った。
 - I 指定文化財等：山根、村石、折立
 - II 文化財保護審議会の活動：山根、村石、中田
 - III 保存、保護及び普及事業：山根、村石、中田、折立、小松原
 - IV 唐沢山城跡保存整備事業：大月、小松原
 - V 埋蔵文化財：村石、折立
 - VI 佐野市の文化財保護行政のあゆみ：山根

- 4 事務局の体制は次の通りである。

令和6年度

職	氏名
教育長	津布久 貞夫
教育部長	赤阪 英明
文化財課長	船渡川 貴史
文化財保護係長	山根 孝男
// 主査	永倉 大朗
// 主査	村石 達郎
// 主事	中田 愛
唐沢山城跡保存整備係長	湯沢 寿志
// 主事	稲葉 篤郎
// 主事補	小松原 宏大

令和7年度

職	氏名
教育長	津布久 貞夫
教育部長	川村 大
文化財課長	岩上 正
文化財保護係長	山根 孝男
// 主査	村石 達郎
// 主事	中田 愛
// 主事	折立 和浩
唐沢山城跡保存整備係長	湯沢 寿志
// 主査	大月 淳史
// 主事補	小松原 宏大

目 次

序、例言、目次	
I 指定文化財等	1
II 文化財保護審議会の活動	2
III 保存、保護及び普及事業	4
IV 唐沢山城跡保存整備事業	8
V 埋蔵文化財	19
VI 佐野市の文化財保護行政のあゆみ	22

I 指定文化財等

1 指定文化財等件数

(令和7年3月31日現在・件)

区分		国			県指定	市指定	計
		指定	認定	登録			
有形文化財	建造物	0	1	27	6	11	45
	絵画	1	0	0	16	8	25
	彫刻	1	0	0	5	23	29
	工芸品	2	0	0	14	14	30
	書跡	0	0	0	0	3	3
	典籍	0	0	0	0	3	3
	古文書	0	0	0	0	12	12
	考古資料	0	1	0	5	13	19
	歴史資料	0	0	0	0	16	16
無形文化財		0	0	0	0	1	1
民俗文化財	有形	1	0	0	1	16	18
	無形	0	0	0	2	13	15
記念物	史跡	1	0	0	3	24	28
	名勝	0	0	0	0	2	2
	天然記念物	0	0	0	3	25	28
計		6	2	27	55	184	274

2 カモシカ処理件数

ニホンカモシカは国の特別天然記念物に指定されており、栃木県では死亡が確認された際、文化財所管課が県に報告をすることとなっている。

令和6年度は以下の1件である。

No	死亡個体確認日	発見場所	処理経過
1	R6.5.11	作原町	県立博物館に連絡後、翌日搬入。

II 文化財保護審議会委員の活動

文化財保護審議会は、教育委員会からの諮問を受けて、文化財の保存・活用に関する重要事項について、調査審議し、これらの事項について教育委員会に建議する教育委員会の附属機関である。

○佐野市文化財保護審議会名簿

(令和7年3月31日現在)

氏名	専門分野	備考
荒川 善夫	歴史	
出居 利長	天然記念物	
岩船 哲也	絵画・工芸	
大澤 慶子	工芸	
片柳 展代	歴史・工芸・民俗	副会長
齋藤 弘	史跡・考古	
細谷 正策	史跡・考古	会長
前原 美彦	民俗	
渡邊 美樹	建築物	

1 第1回文化財保護審議会

(1)実施日 令和6年6月25日

(2)会場 佐野市役所5階502、503会議室

(3)審議事項

佐野市指定史跡の現状変更について

佐野市指定史跡「佐野城跡」における現状変更(手すりの設置)について

【承認理由要旨】

上記の計画について、令和6年4月12日に市長から現状変更許可申請があり、教育委員会の諮問により審議を行い、以下の意見を附して現状変更を認める旨の答申を行った。

【附帯意見要旨】

工事の施工にあたっては、市教育委員会文化財課と事前に協議を行い、慎重に工事すること。工事の際には、現状と遺構について記録保管を行うこと。文化財課職員が立ち会うこと。工事の掘削範囲・深度は必要最低限に留め、遺構や遺物が発見されたときは、教育委員会の指示に従うこと。手すりの色調は景観に配慮すること。

(4)報告事項 2件



施行後の現地

Ⅲ 保存、保護及び普及事業

1 指定文化財維持管理の概要

佐野市文化財保護条例において、市の責務として「文化財の保存及び活用が適切に行われるために必要な措置を講じなければならない」と定めていることから、佐野市では、文化財の所有者・管理者に対して保存・管理等について指導・助言を行うとともに、あわせて維持管理事業も実施している。

維持管理事業の内訳

- (1) 佐野市指定史跡「赤見城跡」の草刈り及びクビアカツヤカミキリ被害木伐採
(草刈:令和6年6月3日～6月14日、10月21日～11月1日実施)
(伐採:令和6年12月20日～令和7年2月7日実施)
- (2) 佐野市指定史跡「葛生人骨出土跡」の清掃及び草刈り
(清掃:毎月実施)
(草刈:令和6年10月1日～10月10日実施)
- (3) 佐野市指定史跡「石灰谷焼窯跡」の草刈り
(令和6年10月1日～10月10日実施)
- (4) 佐野市指定天然記念物「木浦原のザゼンソウ群落」の清掃及び草刈り
(清掃:令和7年2月14日実施)
(草刈:令和6年10月21日～10月25日実施)

2 田中正造旧宅一般公開支援事業

田中正造の旧宅保存整備事業が平成5年に完了し、同年11月から田中正造旧宅の一般公開が始まった。

旧宅を適切に保存し、正造翁の偉業を広くかつ後世に伝えるために、旧宅の維持管理及び一般公開の運営を行う一般財団法人小中農教倶楽部を支援する。

支援事業の内容（令和6年度）

- | | |
|---|----------|
| (1) 旧宅管理運営費の一部補助 | 777,600円 |
| (2) 入場料無料枠拡大に伴う旧宅入場料補助 | 60,650円 |
| (3) 田中正造旧宅説明ボランティアの会視察研修の実施(10/25,群馬県富岡市) | |



田中正造旧宅

3 指定文化財保存修復支援事業等

当事業は、佐野市指定文化財保存事業費補助金交付規則(平成23年4月1日施行)に基づき、文化財の所有者・管理者が行う文化財の保存や修復等に関して、その経費の一部を補助し、文化財の保存保護を図るための支援制度である。

令和6年度では、次の文化財に対して補助を行った。

[佐野市指定有形文化財「銅造 阿弥陀如来坐像」]

本仏像は、観音寺(佐野市金井上町)に祀られており、寛文9年(1669年)に観音寺13世法印宥鳳や佐野家の家臣と伝えられる者をはじめとした篤信者により発願され、天明鋳物師たちにより鋳造された。

[修復事業の内容]

覆屋が傾き、梁が仏像に接触してしまったことから、覆屋の改修を行った。



改修前

(梁が仏像に接触している。)



改修後

4 天明鋳物生産用具国指定推進事業

本年度は、令和6年3月21日に「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」が、重要有形民俗文化財に指定されたことを受けて、天明鋳物生産用具に関する展示を行った。

佐野市郷土博物館で実施した「国指定重要有形民俗文化財 指定記念 佐野の天明鋳物生産用具及び製品」展(令和6年7月27日～9月1日)では、県立博物館に寄託している指定資料の一部を展示した。展示に関連して、8月10日に県立博物館の篠崎学芸部長による講演会を佐野市中央公民館で行った。

また「佐野の天明鋳物生産用具及び製品パネル展」(令和7年1月25日～3月9日)を交流センターで開催し、担当職員が2月11日に展示解説を行った。

10月10日には、田沼中央公民館で「天明鋳物の鐘—作品・生産用具・保護—」という講演を行った。



左:「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」展チラシ

右:「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」会場(佐野市郷土博物館)



左:「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」パネル展の展示解説

右:「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」パネル展会場(地域交流センター)

5 文化財防火査察及び防火演習

1月26日は、昭和24年(1949)に法隆寺金堂壁画が焼損した日であることから、「文化財防火デー」と定められており、この時期に、全国的に文化財防火運動が行われている。

佐野市においても、火災の発生が増えるこの時期に、文化財の管理状況を再確認し、文化財愛護思想の高揚を図ることを目的として、防火査察及び防火演習を実施している。

- (1) 実施日 令和7年1月27日(月)
- (2) 防火査察及び防火演習先 旧三好小学校校舎(岩崎町)

防火査察として、佐野市消防本部による消防設備の点検、一般財団法人関東電気保安協会による電気設備の点検を行った。その後、防火演習として、消防本部、西消防署、消防団による放水訓練を行った。



防火査察(電気設備の点検)の様子



防火演習(放水訓練)の様子

IV 唐沢山城跡保存整備事業

1 令和6年度における事業の概要

唐沢山城跡は平成26年3月18日、その重要性を認められて国指定史跡となった。これを受けて本市では、貴重な文化遺産を後世に良好な状態で伝えるため、平成26年度から唐沢山城跡保存整備事業を開始した。平成27年度に『史跡唐沢山城跡保存活用計画』、28年度に『唐沢山城跡整備基本計画』をそれぞれ策定し、以降これらの計画に沿って史跡の維持管理や保存整備及び普及啓発に取り組んでいる。

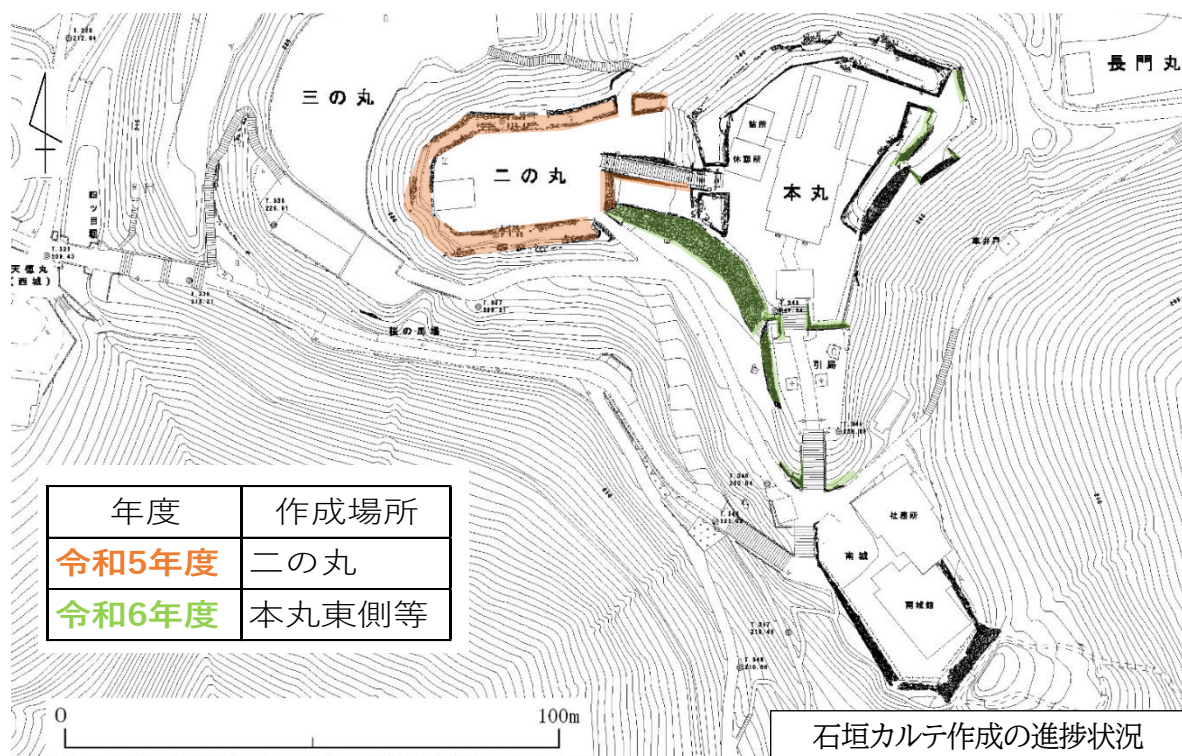
本年度は、石垣カルテ作成(本丸東・南側等)や、植生整備(南城周辺の眺望確保)、本丸虎口石垣の整備報告書刊行などを行った。また、史跡指定10周年記念事業を公益財団法人佐野市民文化振興事業団との共催や、史跡唐沢山城跡保存会のボランティア協力を得て実施した。

2 石垣カルテ作成

本年度は、高石垣などを含む本丸東・南側等の石垣18面分のカルテを(株)パスコへの業務委託により作成した。

まず、石材表面のコケや目地の雑草や落ち葉等を除去し、精密オルソ画像作成用の写真撮影を行った。続く、現地調査は文化財石垣の修復等に熟練した石工との合同で行い、また一部で高所作業車を使用するなど、石材の破損等について詳細な観察に努めた。これらの調査結果の整理を行い、帳票及び図面化しカルテを作成した。

なお、本年度までの石垣カルテ作成の進捗は下図のとおりである。





高所ロープ作業員による石垣清掃(高石垣)



石工との合同調査

3 植生整備

本年度は、植生整備の一環として、南城(整備基本計画で視点場と設定)から西方への眺望の確保を目的に支障となっている樹木を抽出し、23本の伐採及び3本の強剪定を、(株)広瀬林業への業務委託にて実施した。



実施前



実施後

4 史跡唐沢山城跡保存整備に伴う調査業務

史跡の保存整備を進める上で必要な調査の一部について、公益財団法人佐野市民文化振興事業団(国の埋蔵文化財専門職員Ⅱ種の職員が在籍)へ次のとおり委託して行った。

期 間：令和6年5月31日から令和7年3月5日まで

- 内 容：
- ・本丸虎口石垣(No.30)の整備報告書刊行に向けた史跡(遺構)の評価・調査資料の整理及び掲載原稿の作成
 - ・本丸虎口石垣(No.30)上面の復元盛土の確認調査(亀裂及び吸い出しの原因究明を目的とする)

5 史跡唐沢山城跡保存整備調査指導委員会

史跡唐沢山城跡の保存整備に関して、各分野の専門家及び地元関係団体から指導や助言を受けるため当委員会を設置している。

本年度は、下表のとおり委員会を開催するとともに、委員個別指導を実施した。

(1) 委員名簿

No.	氏名	分野	役職など
1	浅野 晴樹	考古	元埼玉県立さきたま史跡の博物館長
2	出居 博	考古・ 埋蔵文化財保護	公益財団法人佐野市民文化振興事業団事務局長・元佐野市教育委員会文化財課長
3	亀山 章	自然(景観生態学)	東京農工大学名誉教授
4	北野 博司	考古・石垣	東北芸術工科大学文化財保存修復技術センターセンター長・教授
5	齋藤 兵衛	郷土史 (郷土の文化財保護)	元佐野市文化財保護審議会会長
6	藤波 一博	地元関係団体	一般社団法人佐野市観光協会代表理事
7	若井 明彦	地盤工学	群馬大学大学院理工学府環境創生部門教授
8	千田 嘉博 (アドバイザー)	城郭考古学	名古屋市立大学 高等教育院 教授 奈良大学 特別教授

(2) 委員会の実施状況

実施日	場 所	内 容	
4月17日(水)	唐沢山城跡 佐野市役所	個別指導 (地盤)	協議事項 ・本丸石垣の保存整備について
7月9日(火)	唐沢山城跡 佐野市役所	第1回 委員会	報告事項 ・本丸石垣 No. 30 定点観測の結果について ・令和5年度二の丸石垣カルテの結果について ・令和5年度樹木伐採等について 協議事項 ・本丸石垣 (No. 30) の天端盛土の対応について ・二の丸発掘調査計画 (案) について ・令和6年度本丸石垣カルテ作成について ・令和6年度二の丸整備基本計画作成について
12月3日(火)	唐沢山城跡	個別指導 (自然)	協議事項 ・植生整備
12月16日(月)	群馬大学 桐生キャンパス	個別指導 (地盤)	協議事項 ・本丸石垣 No. 30 の対応について ・二の丸地盤調査について
12月20日(金)	佐野市役所	第2回 委員会	報告事項 ・本丸石垣 No. 30 の対応について

			<ul style="list-style-type: none"> ・整備基本計画のスケジュール見直しについて 協議事項 ・令和6・7年度植生整備について ・本丸石垣カルテについて
1月27日(月)	唐沢山城跡 佐野市役所	個別指導 (石垣)	<ul style="list-style-type: none"> 協議事項 ・本丸南側等石垣カルテ作成について ・石垣予備診断後の対応について
3月17日(月)	佐野市役所	第3回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 報告事項 ・令和6年度植生整備について ・二の丸石垣カルテ予備診断判定の再検討について ・令和6・7年度の現状変更案件について 協議事項 ・本丸石垣 (No.30) 上面のトレンチ調査について ・令和6年度本丸石垣カルテについて ・整備基本計画のスケジュール見直しについて



第1回委員会での現地指導(7月9日)



石垣カルテに関する個別指導(1月27日)

6 普及啓発事業

(1) 国史跡指定10周年を記念した取り組み

①第78回企画展「戦国時代を生き抜いた佐野氏と唐沢山城」(佐野市郷土博物館)

記念企画展を(公財)佐野市民文化振興事業団と共催した。企画展では、近年発見された佐野家文書の原本を初公開したほか、地元に残る古文書や長辺2mを超える絵図等のほか、東京大学史料編纂所や国立国会図書館等から豊臣秀吉等の戦国大名の画像資料、「佐野絵図」等を借用し、展示した。

また、これまでの発掘調査等の出土遺物や採集品を展示するほか、令和元～4年度にかけて実施した本丸虎口石垣解体修理工事に関する最新情報を発信した。

その他、栃木県埋蔵文化財センターが航空レーザ測量の三次元点群データを活用して作成した唐沢山城の3Dモデル映像を展示した(現在も同センターデジタルミュ

ージアムにて公開中)。

開催期間は10月5日から12月8日までで、来場者は3,081人であった。

②記念講演会

開催日	講師	演題	参加者
10月12日(土)	浅野 晴樹 氏 (史跡唐沢山城跡保存整備調査指導委員会座長)	唐沢山城と城下の空間構成について	63名
11月2日(土)	荒川 善夫 氏 (元栃木県立博物館特別研究委員)	「佐野家文書」 豊臣政権期と江戸時代初期の武家文書	63名
11月24日(日)	宮武 正登 氏 (佐賀大学教授)	中世佐野の築城技法から見た唐沢山城	118名

③根小屋屋敷跡特別公開

西麓根小屋は史跡整備が未着手であり、通常は一般公開していないが、史跡唐沢山城跡保存会をはじめとするボランティアの協力により環境整備を行い、隼人屋敷や御台所周辺を12月1日(日)に特別公開し、300人以上の見学者が来跡した。



発掘調査の出土品等の展示



根小屋特別公開(御台所北側の土堀と土塁)

(2) 史跡ボランティアの募集

市ホームページと「広報さの」9月号に史跡ボランティア募集の記事を掲載した。

(3) 史跡唐沢山城跡保存会の活動支援

史跡ボランティア団体である史跡唐沢山城跡保存会の事務局として活動支援を行った(会員数は令和6年4月17日現在で31名)。

① 春・秋季唐沢山城跡攻略ガイドツアー

春と秋季の定期活動として、次のとおり山頂主要部を巡るツアーを開催した。

	実施日	見学者数(人)	活動会員数(人)
春季	4月28日(日)	51	8
	5月12日(日)	23	8
	6月9日(日)	27	8
秋季	11月3日(日)	38	12
	11月24日(日)	46	10
	12月8日(日)	42	8
	計6回	227	54

② 史跡案内(個別依頼)

例年、上記の定期活動とは別途に、年間を通じて市内外の団体等から寄せられる唐沢山城跡のガイド依頼に対して、史跡のガイドを随時行っており、本年度は次のとおり実施した。

実施日	団体名	活動者数(人)	参加者数(人)
5月30日(木)	古道を楽しむ会幹事会	1	4
6月8日(土)	個人グループ	1	3
6月13日(木)	熊谷市郷土文化会役員	1	6
6月28日(金)	栃本小学校5・6年生	5	19
7月19日(金)	個人グループ	1	4
8月7日(水)	古道を楽しむ会	7	27
9月29日(日)	彦根市長・議長他	1	9
11月21日(木)	熊谷市郷土文化会	6	44
11月22日(金)	佐野市立北中学校1年生	5	38
11月26日(火)	佐野市立北中学校1年生	10	76
12月3日(火)	佐野市立北中学校1年生	8	76
3月26日(水)	洗心学童保育園児	7	32
3月27日(木)	洗心学童保育園児	7	23
3月28日(金)	洗心学童保育園児	8	34
合計	14回	68	395

③ 史跡の環境維持・向上活動

史跡内の見どころ等の環境を維持し、向上させるため、保存会の会員が中心となり、次のとおり除草等を実施した。

実施日	活動場所・内容	活動者数(人)
5月26日(日)	(定期)二ノ丸下大手道～つきとや・土橋	11
6月23日(日)	(定期)雨天のため中止	—
7月7日(日)	(定期)南城下石垣～二ノ丸内側	12
9月14日(土)	御台所・大手道～大岩	5
10月6日(日)	御台所・大手道～大岩	6
10月13日(日)	(定期)御台所・大手道～大岩	16

10月20日(日)	御台所下～隼人屋敷	8
10月27日(日)	(定期)御台所・大岩～大手道	15
11月10日(日)	(定期)御台所下～隼人屋敷	15
1月19日(日)	土矢倉入口	8
2月2日(日)	土矢倉入口	10
3月9日(日)	つつじが丘入口斜面	6
合計	11回	112

④ 会員の資質向上に関する研修会・勉強会等

実施日	内容
5月26日(日)	史跡案内マニュアルについて
7月7日(日)	二の丸石垣を構成する石材講座

環境維持・向上活動実施後に、文化財課職員による小講座を計2回実施した。



史跡ガイド(南城石垣の算木積みを説明)



環境維持・向上活動の様子(南城)

(4) ホームページ等の更新

唐沢山城跡に関する情報を発信するため本市ホームページを次のとおり更新した。

更新日	内容
5月13日(水)	令和6年度史跡唐沢山城跡「春の攻略ガイドツアー」開催のお知らせ
10月21日(月)	唐沢山城根小屋屋敷跡特別公開について

(5) 問い合わせ対応等

- ①ホームページ等からの問い合わせ：3件
- ②情報提供：1件(『地球の歩き方 栃木』への記事掲載協力)

(6) パンフレットの配布：5,879部

佐野市教育委員会が発行している「唐沢山城跡パンフレット」を史跡唐沢山城跡保存会や観光ボランティアガイド協会などの関係団体の協力を得て随時配布した。

(7) 楽習出前講座等への協力

市生涯学習課が実施している同講座について、文化財課職員が講師を務めた。

実施日	場所	内容
10月10日(木)	田沼町中央公民館	市民教養講座ふるさと創生セミナー 「国指定史跡唐沢山城跡について」

7 史跡の維持管理

(1) 西麓根小屋地区の除草等

史跡指定地内において、栃本側の西麓根小屋（御台所、隼人屋敷、家中屋敷）の維持管理のため、除草作業を次のとおり業務委託するほか、一部直営で実施した。

作業期間	場所	業務委託先
6月26、17日	家中屋敷	社会福祉法人とちのみ会和泉
7月1、3、5、8、10、12日	隼人屋敷・御台所	公益社団法人 佐野市シルバー人材センター

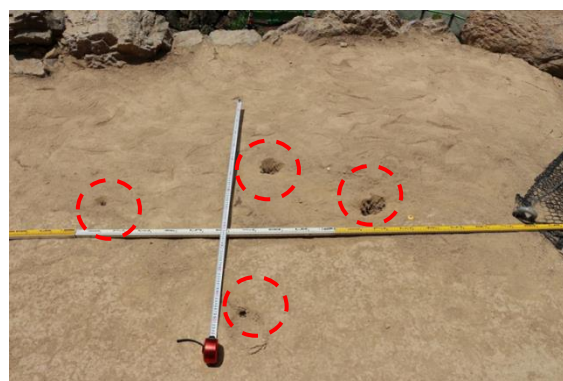
(2) 本丸虎口石垣(No.30)の点検

当石垣については、令和4年度の積み直し工事完了後より、このまま安定していくか点検と経過観察を継続してきた。

令和5年6月初旬には台風第2号の影響を受けた大雨(佐野市アメダス観測値で24時間降水量108mm)後の巡視時に石垣上面の復元盛土に亀裂が発見された。さらに翌6年5月末頃より新たに盛土の土がすり鉢状に吸い出されるようになり、6月24日までに4カ所(うち1カ所は陥没)で確認された。これらの吸い出し等の経過観察や石垣への影響を確認するため定点観測(6箇所)を実施(本年度は21回)した。この観測データをもとに調査指導委員会において、今後の対応策に関する協議を行った。



復元盛土の上面の亀裂(令和5年6月19日)



すり鉢状の吸い出し等(令和6年6月24日)

8 史跡の現状変更

史跡の現状変更に関する指導と、許可に係る事務を次のとおり行った。また、文化財課職員による立会が許可条件に付された案件については、随時立会を行った。

申請日	申請者	現状変更の内容	許可日	許可者
5月7日	東京電力パワーグリッド(株)	既設電線の埋設に伴う工事	5月8日	佐野市
12月25日	佐野市長(観光推進課)	既存ベンチと階段の改修工事	12月26日	佐野市
2月5日	佐野市長(文化財課)	植生整備 (遺構や眺望に影響を及ぼす 樹木の伐採)	2月6日	佐野市
3月10日	佐野市長(都市整備課)	栃本公園バリアフリー化工事 (トイレ・園路の改修工事)	7年度許可 見込み	文化庁
	佐野市長(文化財課)	隼人屋敷トレンチ調査	7年度許可 見込み	文化庁
合計	申請5件		許可3件	



既設電線埋設に伴う立会(令和6年7月2日)



電線埋設箇所土層断面【西から東】(令和6年7月2日)

9 史跡内における発掘調査等

本丸石垣(No.30)上面における復元盛土の亀裂等の発生原因を確認するための調査を次のとおり行った。

(1) 調査地：佐野市栃本町 3598-2

(2) 調査に至った経緯

史跡の維持管理(P18)にて先述したように、復元盛土の亀裂及び吸い出しへの対応について7月9日開催の第1回委員会で協議を行ったところ、復元盛土のやり直しを検討する必要がある、その前に原因を明らかにすべきとの指導を受けた。今後の対応策について具体的に検討するためにはトレンチ調査を実施して、盛土内の状況を確認することとした。

(3) 調査の概要

①調査期間：令和7年3月6～11日

②調査主体/調査員：市教育委員会/湯沢寿志、稲葉篤郎、小松原宏大

③調査の方法

- ・吸い出し断面を確認するため、トレンチ A(1.3m×0.3m)、トレンチ B(1.0m×0.3m)を設定した。
- ・トレンチの掘り下げ作業は、全て移植ゴテを使用しての人力で行った。
- ・測量の座標値は世界測地系、標高は海拔高とし、トータルステーションを使用して平面図及び断面図の作成及び写真・ビデオ撮影により記録化を図った。

④調査結果

- ・吸い出し等の原因については、3か所(吸い出し①・③、陥没④)は、石垣積み直し工事前に生育していた樹木の根の腐朽が進行し、中が空洞化したためと判断された。
- ・吸い出し③については、豪雨・地震などで裏込め層が沈下したことで工事時に埋設した吸い出し防止シートの端部が立ち上がり、その隙間へ土砂が流出したものと判断された。

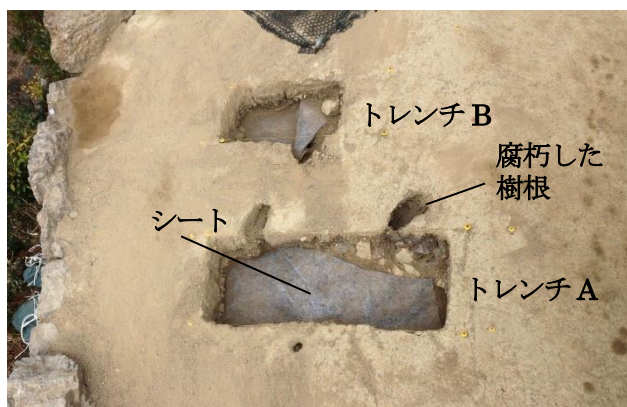
これらの調査結果をもとに、3月17日の第3回委員会にて今後の対応について協議を行った。



調査前状況(南から北)



トレンチの掘り下げ作業



吸い出しシート(灰色)の現況確認



トレンチ A 断面(南東から北西)

10 全国史跡整備市町村協議会等参画事業

全国史跡整備市町村協議会は、昭和41年1月7日に主として史跡名勝、天然記念物及び文化的景観を有する市町村をもって組織された協議会で、全国の632(令和6年度末現在)の市町村が加盟しており、加盟市町村が協調して史跡等の整備に関する調査研究及びその具体的方策の推進を図り、もって文化財の保存と活用に資することを目的としている。

当事業では、全国史跡整備市町村協議会及びその下部組織である全国史跡整備市町村協議会関東地区協議会に加盟することにより、全国の加盟市町村との情報交換や連携強化を図ることによって、史跡唐沢山城跡について適切な保存管理や活用・整備を目指すものである。

本年度における各協議会の事業は次のとおりである。

(1) 全国史跡整備市町村協議会（全史協）

- ①10月9～11日 令和6年度大会(宮城県多賀城市)開催
- ②11月15日 臨時大会(東京都千代田区)開催

(2) 全国史跡整備市町村協議会関東地区協議会（関史協）

- 7月9日 令和6年度総会(宇都宮市)開催

(3) 栃木県史跡整備市町村協議会（県史協）

栃木県内の市町が協調して、文化財の保護に関する調査研究、およびその具体的方策の推進を図り、文化財の保護と活用を目的として組織された協議会である。

- ①8月6日 令和6年度大会(下野市)開催
- ②令和7年1月10日 担当者研修会(栃木市：史跡西方城跡)実施



県史協大会会場(下野市:しもつけ風土記の丘資料館)



県史協の担当者研修会(西方城跡)

V 埋蔵文化財

1 埋蔵文化財包蔵地の照会件数（令和6年度）

（件）

地区名	照会件数	左記のうち 包蔵地該当 件数
旧佐野地区	1,054	190
旧田沼地区	340	31
旧葛生地区	88	5
計	1,482	226

2 工事立会・確認調査

（1）工事立会

遺跡名	所在地	工事の目的	調査 面積	調査日	調査結果
金居宿遺跡	犬伏上町	個人住宅	10 m ²	R6.4.22	遺構・遺物なし
高山遺跡	高山町	個人住宅	2.4 m ²	R6.4.25	遺構・遺物なし
上台町遺跡	植野町	個人住宅	6.8 m ²	R6.7.11	遺構・遺物なし
宿西IV遺跡	出流原町	個人住宅	4.2 m ²	R6.7.31	遺構・遺物なし
興聖寺城跡	新吉水町	下水道敷設	3.2 m ²	R6.8.1	遺構・遺物なし
下町屋遺跡	仙波町	電柱建替、 切土	0.6 m ²	R6.8.26	遺構・遺物なし
佐野城跡	若松町	店舗	3 m ²	R6.9.20	遺構・遺物なし
ホクチャ北遺跡	黒袴町	寮	4.6 m ²	R6.9.30	遺構・遺物なし
大網遺跡	閑馬町	倉庫	2.3 m ²	R6.10.10	遺構・遺物なし
北馬場遺跡	植上町	宅地造成	6.4 m ²	R6.10.15	遺構・遺物なし

遺跡名	所在地	工事の目的	調査面積	調査日	調査結果
女沼Ⅱ遺跡	越名町	個人住宅	2 m ²	R6.10.22	遺構・遺物なし
五箇古墳群	小中町	駐車場整備	2 m ²	R6.10.23	遺構・遺物なし
黒袴本郷遺跡	黒袴町	個人住宅	4 m ²	R6.11.15	遺構・遺物なし
富士ノ宮遺跡	浅沼町	個人住宅	1.5 m ²	R6.12.5	遺構・遺物なし
犬伏白山遺跡	犬伏下町	個人住宅	1.5 m ²	R6.12.9	遺構・遺物なし
北馬場遺跡	植上町	個人住宅	1.5 m ²	R6.12.10	遺構・遺物なし
宿西Ⅷ遺跡	出流原町	個人住宅	—	R6.12.17	計画変更に伴い、慎重工事
阿曾沼城跡	浅沼町	長屋住宅	4 m ²	R7.1.20	遺構・遺物なし
村上中妻Ⅱ遺跡	村上町	個人住宅	2 m ²	R7.2.27	遺構・遺物なし
出流原遺跡	出流原町	個人住宅	2 m ²	R7.3.3	遺構・遺物なし
一丁田遺跡	吉水駅前 二丁目	個人住宅	11 m ²	R7.3.24	遺構なし 土師器片が出土
興聖寺遺跡	吉水町	下水道敷設	7.5 m ²	R6.9.24 R6.10.21 R6.11.12	遺構・遺物なし
植野城跡	植下町	下水道敷設	15 m ²	R6.10.30 R6.11.5 R6.11.6	遺構なし 瓦片、土師器片 が出土
植野城跡	植下町	個人住宅	4.5 m ²	R6.12.18 R7.1.7	遺構・遺物なし
下門辰巳遺跡	犬伏新町	個人住宅	1.6 m ²	R6.5.7	遺構・遺物なし
出流原白山古墳	出流原町	下水道敷設	2.3 m ²	R6.7.18 R6.9.6	遺構・遺物なし
北の内遺跡	出流原町	下水道敷設	12.1 m ²	R6.9.17 R6.9.30	遺構・遺物なし

(2) 確認調査

遺跡名	所在地	工事の 目的	調査 面積	調査日	調査結果
北馬場遺跡	植上町	宅地造成	74.0 m ²	R6.4.10	遺構・遺物なし
北の内遺跡	出流原町	陸上養殖施設	130.0 m ²	R7.1.20 ～R7.2.5	柱跡や土坑跡、内耳 土器片が出土

3 令和6年度刊行物

シリーズ名	巻次	書名	副書名	発行日
佐野市文化財 調査報告書	第63集	佐野市の文化財保護	令和5年度	令和7年3月21日
佐野市文化財 調査報告書	第64集	史跡唐沢山城跡 石垣保存整備報告書Ⅰ	本丸虎口石垣 解体修理工事 (令和元年～ 4年度)	令和7年3月28日

4 佐野市遺跡地図作成事業

佐野市域内の埋蔵文化財包蔵地の範囲を明示するために、令和4年度から現地踏査を実施し、令和7年度に遺跡地図を作成・発刊する。

令和6年度は令和5年度に踏査できなかった旧葛生町域の一部の現地踏査を実施した。

VI 佐野市の文化財保護行政のあゆみ

期 日	内 容
平成 17 年 2 月 28 日	新佐野市発足により、生涯学習部生涯学習課文化財保護係を設置、佐野市文化財保護条例 公布・施行
平成 17 年 7 月 26 日	佐野市文化財保護審議会 開催(新市発足後初)
平成 19 年 5 月 1 日	佐野市指定文化財指定基準 施行
平成 20 年 9 月 25 日	「神鈴」、「青磁遊環花生」、「天明鋳物の鋳造資料」を市指定文化財に指定
平成 21 年 7 月 10 日	「絹本著色菜蟲譜」が国指定有形文化財になる
平成 23 年 3 月 30 日	「天明鋳物生産用具 附 製品、文書」が県指定文化財になる
平成 24 年 7 月 27 日	「波に卷子形兜 号龍綺」、「佐野家古図」を市指定文化財に指定
平成 25 年 3 月 22 日	『唐沢山城跡調査報告書』発行
平成 25 年 9 月 4 日	「田中正造終焉の家」を市指定文化財に指定
平成 26 年 2 月 20 日	「万福寺のコノテガシワ」を市指定文化財に指定
平成 26 年 3 月 18 日	「唐沢山城跡」が国指定史跡になる
平成 26 年 4 月 1 日	組織改編により、教育総務部文化財課を新設
平成 26 年 7 月 29 日	「小曾戸家文書」を市指定文化財に指定
平成 27 年 11 月 17 日	「旧影澤医院」が国登録文化財になる
平成 28 年 11 月 29 日	「島田家住宅主屋」、「第一酒造酒蔵」、「第一酒造酒蔵事務所」、「第一酒造旧桶倉庫」、「第一酒造旧穀倉」、「第一酒造旧米穀倉」が国登録文化財になる
平成 29 年 10 月 27 日	「旧土佐屋薬局店舗兼主屋」、「旧土佐屋薬局座敷蔵・中蔵・奥蔵」が国登録文化財になる
平成 29 年 11 月 25 日・26 日	第 24 回全国山城サミット in 佐野 開催

期 日	内 容
平成 30 年 2 月 15 日	「惣宗寺山門」、『陶壁「翔鶴」田村耕一作』、「上林遺跡旧石器時代資料」、「会沢町産出のサイ骨格化石」を市指定文化財に指定
令和元年 9 月 20 日	佐野市文化財要覧『佐野市の文化財』刊行
令和元年 12 月 5 日	「寺岡糸店店舗」、「寺岡糸店主屋」「寺岡糸店文庫蔵」、「寺岡糸店石蔵」、「寺岡糸店大門」が国登録文化財になる
令和 2 年 9 月～令和 5 年 1 月	史跡唐沢山城跡石垣整備工事（本丸虎口）
令和 3 年 2 月 26 日	「太田家住宅見世蔵及び主屋」、「太田家住宅中蔵」、「太田家住宅西蔵」、「太田家住宅南蔵」、「太田家住宅八幡社」、「太田家住宅稲荷社」、「太田家住宅表門及び石塀」が国登録文化財になる
令和 4 年 7 月 28 日	市指定文化財「銅造 地蔵菩薩立像」の原型木型の木彫像を附として追加し、「銅造 地蔵菩薩立像 附木彫像」に変更
令和 5 年 4 月 1 日	組織改編により、文化財課に唐沢山城跡保存整備係を新設、埋蔵文化財専門職員を配属
令和 5 年 8 月 7 日	「唐澤山神社本殿」、「唐澤山神社拝殿」、「唐澤山神社中門祝詞屋及び透塀」、「唐澤山神社参拝門」、「唐澤山神社神楽殿」、「唐澤山神社神橋」が国登録文化財になる
令和 6 年 3 月 21 日	「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」が国指定重要有形民俗文化財になる

報告書抄録

ふりがな	さのしのぶんかざいほご
書名	佐野市の文化財保護
副書名	令和6年度
巻次	
シリーズ名	佐野市文化財調査報告書
シリーズ番号	第65集
編集執筆者名	山根孝男 大月淳史 村石達郎 中田愛 折立和浩 小松原 宏大
編集機関	佐野市教育委員会事務局 教育部 文化財課
所在地	〒327-8501 栃木県佐野市高砂町1番地 電話 0283-25-8520 FAX 0283-20-3032
発行年月日	令和8年3月4日(2026年3月4日)

佐野市文化財調査報告書 第65集

佐野市の文化財保護—令和6年度—

令和8年3月4日発行

編集発行 佐野市教育委員会事務局教育部文化財課

〒327-8501 栃木県佐野市高砂町1番地

電話 0283-25-8520

FAX 0283-20-3032
